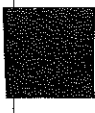


経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			会 派 /
会 派 名	創 政 会	年 度	平成 30 年度
項 目	広 報 費	金 額	¥ 4 4 2, 1 5 2 - 円
内 容	会派市政報告チラシ作成 新聞折り込み費 89,000枚		
支 払 先	有限会社井上文尚堂	支払年月日	平成30年 5月 8日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領 収 証		No. _____ 平成 30 年 5 月 8 日															
創 政 会 様																	
金 額	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>円</td> </tr> <tr> <td></td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td><td></td> </tr> </table>	千	百	十	万	千	百	十	円		4	4	2	1	5	2	
千	百	十	万	千	百	十	円										
	4	4	2	1	5	2											
但し 上記の金額有難く領収いたしました																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>現 金</td><td></td></tr> <tr><td>小切手</td><td></td></tr> <tr><td>約束手形</td><td></td></tr> <tr><td>相 殺</td><td></td></tr> </table>	現 金		小切手		約束手形		相 殺		印章・デザイン・印刷・看板 有限会社 井上文尚堂 〒675-0066 加古川市加古川町寺家町13-2 TEL (079) 421-2603 FAX (079) 421-2604	取扱者印 							
現 金																	
小切手																	
約束手形																	
相 殺																	



請 求 書

平成30年4月25日

創政会

御中

有限会社井上文尚堂

加古川市加古川町寺家町13-2

TEL:079-421-2603

FAX:079-421-2604

支払条件: 貴会規定のとおり

No.	品名及び仕様	数量	単価	金 額
	市政報告 (Vol.0009)			
1	新聞折込費	89,000枚	4.60	409,400
	B3サイズ(二つ折り)			
	小 計			409,400
	消費税			32,752
	合 計			¥442,152



加古川市議会 創政会 市政報告

新着
加古川市議会 創政会
加古川市加古川駅前西側2000号地
TEL 079-427-9308
FAX 079-424-9048
No.0009 (4)F03



平成30年 第1回定例会 代表質問について

人口減少とその対策について



原田 幸廣

質 加古川市の人口は、平成25年に減少に転じてから、年々減少が続いている状況である。今後この傾向であれば、市税収入の減少も避けられず、まちの活力も失われてしまう。人口の現状について、減少している年齢層や移動状況などの現状分析と、加古川市の強みをどのようにPRしていくのか。

答 この数年は人口流出による社会減が大きくなっている。年齢層では男女とも20歳から34歳の転出超過数が大きく、進学や就職による学生の流出と子育て世代の転出が考えられる。近隣との比較では、神戸市、姫路市、明石市、高砂市など近隣への移動が多くなっている。それらを踏まえ、先進事例の調査や先駆的な取り組みを進めながら、合計特殊出生率を高めることや健康寿命を延ばすこと、生活満足度を向上させること等を念頭に努力したい。

また、通勤しやすく自然災害も少ない、余暇を楽しめる場所や緑の多さなど「住みやすい」地域である特徴や、見守り力メラ、育児休業復帰支援体制補助や奨学金返済支援などの近隣他市にない施策もPRし、移住や定住につなげたい。

定住促進について

質 ①シティブロモーションについて 加古川の良さをPRするシティブロモーションについては一貫して取り組まれているが、今後の定住促進につなげるためには、イメージ戦略だけでなく具体的な住みやすさをPRするような具体的な訴求力をもつシティブロモーションが必要と考えるが、お考えはどうか。

答 平成30年度に「結婚から子育てまで、くうっと」応援するまち「ブランディング緊急プロジェクト」を立ち上げる予定であり、そこで昨年作成した映画「36.8℃」の上映会やロケ地巡りなどで加古川の魅力をPRするとともに、若い世代にまちづくりに関わってもらう機会を設けてふるさと意識の醸成をし、将来的なリターンにつなげるなどの取り組みをしていきたい。

質 ②移動手段の確保について 北部地域においては高齢化が進み、移動困難者も増えてくると思われる。公共交通などの移動手段がなく定住不可能な地区が増えれば、ますます人口流出が進むと考えるが、今後の移動手段確保の施策展開についてお聞きしたい。

答 高齢者をはじめとした交通弱者が増加するなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域特性や需要に応じた移動手段の確保が必要である。その中で、バス路線の再編を図るとともに、住民提案制度による地域に応じた公共交通などの手段を進めていく。

平成30年 第1回定例会 一般質問について

新たな空き家を生まないための施策について



森田 俊和

質 昭和48年に法改正により新たな用途地域が定められ、それぞれに法規制がかかることになった。そのうち、第一種住居専用地域は、良好な住環境を保つために他の地区に比べ規制が厳しくなっている。特にその中で敷地面積が70㎡以上の狭小宅地では、建て替えを行おうとした場合に、現状の建物と同じ規模の建て替えは難しい場合が多く、土地利用に制限がかかり売買も影響している。

これらの狭小宅地の多くが築45年以上となり建て替えの時期を迎えているが、住人の多くが高齢者であり、このままだと建て替えにくく売買もできないような狭小宅地が空き家となっていく可能性が高いと考える。

この現状を踏まえ、新たな空き家を作らない方策を検討していないか伺う。また、そのような狭小宅地を併合することで、建て替えがしやすくなり空き家になることを防げると考えるが、そのための補助制度を創設できないか。

答 高齢者世帯やそのごとも世代が、親が所から考えてもらう必要がある。そのため、リフォームなどで啓発するとともに、法務局と連携し相続登記の啓発にも努める。

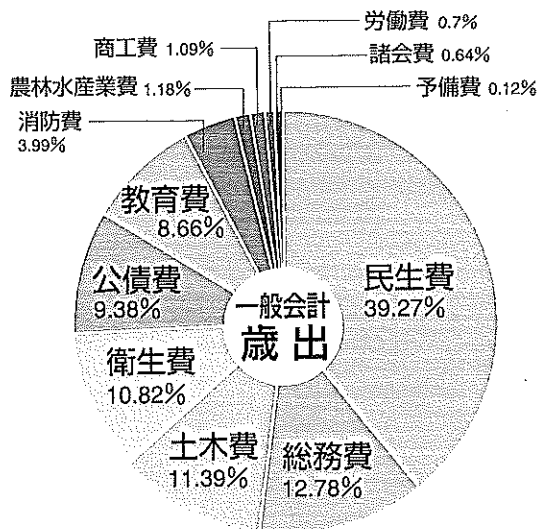
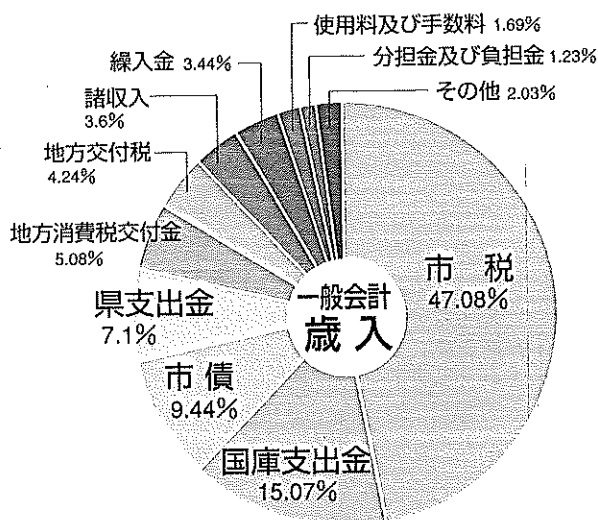
また、狭小住宅の併合に対する補助制度については、50㎡に満たない狭小宅地を解消するために隣接地を取得した場合に補助金を出す制度を開始した自治体があることは認識している。加古川市との違いも考えながら、調査研究したい。

平成30年第1回定例会

平成30年度予算案について賛成し、予算が成立しました。

一般会計予算は、昨年に行った大型の保育所整備が終了したこともあり、4年ぶりの減額となりました。

平成30年度 一般会計／826億3,000万円



一般会計を一般家計に例えると…

収入	支出
・給料……………194.5万円 (市税)	・医療費……………106.2万円 (扶助費)
・パート収入……………12.0万円 (分担金、使用料など)	・食費……………79.7万円 (人件費)
・その他収入……………23.3万円 (財産収入、諸収入など)	・ローン返済……………39.2万円 (公債費)
・親からの援助……………130.1万円 (国・県支出金、地方交付税、地方交付税など)	・家、車の購入、修理維持費……………47.9万円 (土木費、維持補修費)
・ローン借り入れ……………39.0万円 (市債)	・光熱費、通信費……………57.4万円 (物件費)
・預金の引き出し……………14.1万円 (繰入金)	・子どもへの仕送り……………76.8万円 (繰入金、補助費)
	・その他生活費……………5.4万円 (投資及び出資金、貸付金、予備費など)
	・貯金……………0.4万円 (積立金)
収入合計 413万円	支出合計 413万円

一般会計(826億3,000万円)を、1/20000に縮小して、世帯年収が413万円(1カ月あたり約34万4,200円)の家庭家計に置き換えて説明します。

平成30年度
予算総額
1,567億1,938万1,000円
一般会計／826億3,000万円

特別会計／518億5,863万5,000円
企業会計／222億3,074万6,000円

創政会意見

平成30年度の予算案では、「結婚から子育てまで、ぐうっと」応援するまち「ランディング緊急プロジェクト」として、部の枠を超え、横断的に連携しながら、様々な事業が展開されますことは大いに評価するところであり、今後は、定住促進はもとより、移住促進にもつながられるよう期待するところです。

また、魅力ある加古川市をPRしていくためには、シティプロモーションの強化は必要不可欠であると考えます。

このため、昨年、制作したシティプロモーション映画の上映イベントやロケ地めぐりなど、引き続き、市民を巻き込んだ新たな事業展開を期待しております。

次に、ウェルビーポイント制度については、事業の拡充に努められたことは評価するところであり、今後は民間ポイント制度との連携を図るなど、より一層、協働のまちづくりに向けた取り組みを要望いたします。

また、子ども医療費助成においては、通院医療費の無料化を導入するとともに、様々な保育士確保策を計画されるなど、市民ニーズに対応した少子化対策の充実に取り組みされるとともに、市民誰もがいきいきと暮らせるまちづくりに向けた、地域包括ケアシステムの深化に向けた事業も計画されておられるのは、評価するところであります。

公共交通については、地域の実情に対応した公共交通網の見直しや新たなコミュニティ交通の導入などに取り組まれたことは、大いに評価するところです。

平成30年度 注目の予算

福祉・医療

拡 障害児施設等利用者支援事業(8億8,832万円)

放課後等デイサービスにおける重症心身障害児の支給決定基準を1ヶ月あたり23日に拡充する。

創政会政策提言:障がい者及び家庭への支援

新 医療的ケアサービス提供施設新規開設補助事業(500万円)

医療的ケアを必要とする障がい者(児)の日中活動の場の充実を図るため、新たに医療的ケアサービスを提供する施設を開設する事業者等に対して開設に要する初期経費の一部を助成する。

拡 こども医療費助成事業(3億2,544万円)

平成30年7月診療分から、小学4年生から中学3年生までの通院医療費の一部負担金を無料化する(所得制限あり)

創政会政策提言:子ども医療費の無償化

新 保育士等確保事業(2,854万円)

保育士人材の確保・定着を図るため、新卒等の保育士と採用後5年継続勤務した保育士に一時金を支給する。

新 産後ケア事業(286万円)

産後うつや虐待の発生を防ぐため、産後4ヶ月未満の母子に対して、病院や助産所で心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を行う体制を整備する。

新 一次救急医療定点化事業(2,007万円)

定点化による休日夜間一次救急医療施設を整備する。平成30年度は施設の基本設計を行い、平成33年中のオープンを目指す。

創政会政策提言:休日夜間診療の定点化

教育

新 学校園施設長寿化計画策定事業(4,400万円)

学校施設の劣化状況や取り巻く環境を総合的に把握し、計画的に効果的な施設整備を進め安全で快適な学習環境を整備するため、学校園施設の長寿化計画を策定する。(2か年計画:計7,000万円)

創政会政策提言:望ましい教育環境の整備

新 未来を拓く学び推進事業(141万円)

協働的探究学習の手法をもとに授業改善を図り、「わかる学力」を育成し「できる学力」に取り組む。

拡 スクールソーシャルワーカー活用事業(767万円)

社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを中学校区に順次配置し、福祉的な視点から児童生徒の悩みや課題の解決を図る。

創政会政策提言:スクールソーシャルワーカーの設置推進

新 スクールサポートチーム活用事業(1,212万円)

重大事態の再発防止のため、弁護士・臨床心理士・社会福祉士などの専門家で構成するスクールサポートチームを設置し、各学校の問題について多角的な視点で対応する。

拡 中学校給食準備事業(4億6,951万円)

中学校給食の実施に向けて、設計や工事等を計画的に進める。

創政会政策提言:中学校給食の早期実現

広報・協働

新 シティプロモーション推進事業(1,361万円)

ホームページ・SNS・イベント等で市の魅力を広く発信する。昨年作成した映画も活用し、交流人口や転住人口の増加につながるよう事業を推進する。

創政会政策提言:シティセールス強化

拡 協働のまちづくり推進事業補助金交付事業(806万円)

補助金の交付対象事業に「地域協働型」を新設し、地域と団体が自主的につながり地域課題を解決するために行う事業の経費を助成する。

新 協働のまちづくり婚活応援コラボ事業(300万円)

若者の婚活を応援するため、ツアーマッチなどの協働事業を通じて出会いの場を創造し、若者の移住・定住へつなげる。

拡 ウェルビーポイント制度運営事業(1,943万円)

ポイント付与の対象を「こども・教育分野」で拡大し、公民館活動や見守り、一部のPTAなど新たに付与する。

創政会政策提言:ポイント制度の対象拡充

商工・農林漁業

新 奨学金返還支援事業(490万円)

中小企業の人材確保のため、市内中小企業に正規雇用され奨学金の返済義務がある方に対し、返済金額の一部を補助する。

新 6次産業化推進事業(3,567万円)

農業者団体が、資金の貸付けを受けて、地元の農産物の加工施設(みそ)を整備する取り組みに対して助成する。

創政会政策提言:6次産業化と加工場整備補助

交通・インフラ

拡 公共交通補助事業(1億5,793万円)

公共交通の充実のため、運行費の一部を補助する。また、バス路線の増便・延伸(東神吉地区)やコミュニティ交通への転換(山手地区)等、地域の実情に即した取り組みを進める。

創政会政策提言:地域の実情に合わせた公共交通の整備

継 神吉中津線道路改良事業(14億5,200万円)

神吉中津線の整備を推進するため、買収用地の物件調査業務や事業用地の取得等を進める。

創政会政策提言:新橋梁と道路整備

新 市道稲屋2号線道路改良工事費(2,400万円)

市道稲屋2号線の整備を行うため、用地買収と工事を行う。

拡 老朽危険空き家等対策事業(690万円)

老朽危険空き家の公共的な跡地利用を条件とした除去費助成に加えて、跡地利用が困難な場合にも除却費の助成を行い、住環境を整備する。

新 今年度から新たに取り組む事業

拡 前年度より規模を拡大して取り組む事業

継 前年度以前から継続して取り組んでいる事業

主な議案トピックス

■加古川市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例

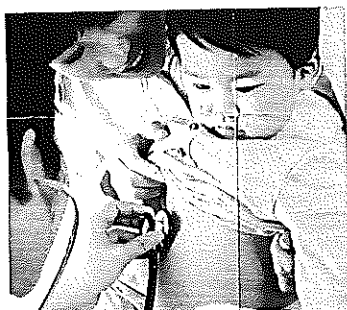
避難行動要支援者（高齢者や障がい者など）の生命や身体を災害から保護するために、名簿を整備する。その際に、名簿情報の提供について本人の同意を求めた場合で、本人から同意しない意思が明確にされなかったときは、避難支援等関係者に名簿情報を提供する。

■加古川市消防団条例の一部改正

昼間の災害に対応する消防団員の確保のため、任命要件に「本市に勤務し、または通学する者」を加える。

■医療の助成に関する条例の一部改正

こども医療費助成制度を拡充し、小学校4年生から中学校3年生までのこどもに対する医療費助成について、平成30年7月から、通院医療費の一部負担金を定額負担から無料とする。



請願の賛否と意見

幼小中学校の全教室にエアコンの設置を求める請願

（他同様のもの3件（反対多数で不採択））

反対

小中学校へのエアコンの整備は、もともと会派の予算提言として市長に申し入れをしていたものです。その中で、市長はエアコン設置への調査を行うことを表明されました。設置方法やスケジュールはこれからですが、方向としては設置に向かっています。

今回の請願は、その方向性がある中で出されたものであり、内容としてもすでに決まったことであるため賛同できないとしました。

待機児童の早期解消について

（他同様のもの1件（反対多数で不採択））

反対

待機児童の解消は重要な課題であり、会派の重要政策提言でも強く求めています。

今回の請願はともに日本共産党から出されていましたが、請願内容に事実誤認があること（就職が決まっていなくて保育所に入れない旨の記載）、また保育園や幼稚園の定員数は民間との密な調整が必要であるが公立のものみの拡充を求めている点から不採択としました。

公民館にエレベーターの設置を求める請願

（賛成多数）

賛成

公民館の今後の在り方については、公共施設等総合管理計画の中で早急に方針を立てるべきであると考えます。

その中で、エレベーターの設置はなされるべきです。現状の使用状況をみれば、高齢の利用者や障がい者の移動などのために必要性は高いと判断し、賛成しました。

加古川市議会 創政会

メンバー紹介



幹事長
原田 幸廣



政調会長
森田 俊和



神吉 耕蔵



井上 隆司



佐藤 守



中村 亮太

創政会

地域での課題など、ご意見いただくと幸いです。会派一同お待ちしております。



加古川市議会議事堂

TEL.079-427-9303 FAX.079-424-9043

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			会 派 2
会 派 名	創 政 会	年 度	平成 30 年度
項 目	資 料 作 成 費	金 額	¥15,947-円
内 容	コピー代（2月分） モノクロ 303枚、カラー 144枚 計2,754円 （3月分） モノクロ 1240枚、カラー 793枚 計13,193円		
支 払 先	富士ゼロックス兵庫株式会社	支払年月日	平成30年 5月 2日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

創政会

様

金額

¥15,947 ※

収
入
印
紙

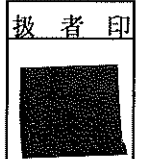
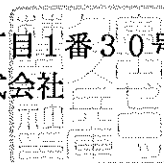
但し 請求書通り

平成 30 年 05 月 02 日

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	*
振 込	¥	15,947 ※
手形・相殺	¥	*
計	¥	15,947 ※

神戸市中央区浜辺通2丁目1番30号
富士ゼロックス兵庫株式会社



(本証に社印および抜者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

請求書

発行日：2018年03月02日
請求書番号：780301-0266966

創政会

様

富士ゼロックス兵庫株式会社



今回ご請求額 2,754円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合わせ番号： 電話：0120-069-840

お支払約束手	2018年04月06日
お支払方法	お振込
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	
指定口座名	富士ゼロックス兵庫株式会社

料金項目/品名	期間/送品NO	枚数/数量	単価	小計(円)	合計(円)
トータルサービス料金	2018/02/01-2018/02/28				2550
黒モード	1カウント以上	303	1.50	454	
クリエイション	1カウント以上	70	12.00	840	
フルカラー	1カウント以上	74	15.00	1110	
最低コピー料金				2550	
ご使用合計		447			
【代金/料金合計】					2550
【消費税および地方消費税】					204
【今回ご請求額】					2754
※ご利用機種/機械番号: DocuCentre-VI C2271 PFS 160975					
(今回) (前回) (テスト) (ミス)	2018/02/01-2018/02/28				
1 (618) (311) (0) (4)	設置先: 創政会				
2 (222) (151) (0) (1)					
3 (450) (375) (0) (1)					

31 備考:

MIF003

創政会

様

請求書

発行日：2018年04月03日
請求書番号：780402-0320688

富士ゼロックス兵庫株式会社



今回ご請求額 13,193円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合わせ番号： 電話：0120-069-840

お支払約束手	2018年05月07日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束手日に口座より引落しさせていただきます。

料金項目/品名	期間/送品NO	枚数/数量	単価	小計(円)	合計(円)
トータルサービス料金	2018/03/01-2018/03/31				12216
黒モード	1カウント以上	1240	1.50	1860	
クリエイション	1カウント以上	513	12.00	6156	
フルカラー	1カウント以上	280	15.00	4200	
ご使用合計		2033			
【代金/料金合計】					12216
【消費税および地方消費税】					977
【今回ご請求額】					13193
※ご利用機種/機械番号: DocuCentre-VI C2271 PFS 160975					
(今回) (前回) (テスト) (ミス)	2018/03/01-2018/03/31				
1 (1871) (618) (0) (13)	設置先: 創政会				
2 (741) (222) (0) (6)					
3 (733) (450) (0) (3)					

31 備考:

MIF003

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票			経理番号
			会 派 3
会 派 名	創 政 会	年 度	平成 30 年度
項 目	資 料 購 入 費	金 額	¥ 23,760-円
内 容	日本教育新聞年間購読料 2018年4月～2019年3月		
支 払 先	株式会社 日本教育新聞社	支払年月日	平成30年 4月27日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

セブン-イレブン
東加古川駅北口店
兵庫県加古川市平岡町新在家113
7-1
電話：079-454-2804 ｼﾞｬﾝ#1

2018年04月27日(金) 15:31 責107
公共料金等の受付明細は下記の
とおりです。
収納代行みずほファクター 1件
計 1件

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

振込先	日本教育新聞社	
金額	23,760円	
振込先	銀行	支店
依頼人	加古川市議会 創政会	
料 金	8,127円	
備 考		

CVS収納用収入印紙貼付欄

(印鑑欄)

(ゆうちょ銀行)

請 求 書

2018 年 4 月 4 日

加古川市議会 創政会

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹

東京都港区虎ノ門1-2-8

電話 03 (5540) 7777

《お支払い先》

・振替払込

・銀行振込

・口座名義

銀行 預金 支店

株式会社日本教育新聞社

合計請求額	23,760 円	読者コード		請求書番号	0004087177
-------	----------	-------	--	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				23,760 円	2017/04-2018/03
今回入金額				23,760 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	23,760 円	2018/04-2019/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	23,760 円	2018/04-2019/03

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			会 派 4
会 派 名	創 政 会	年 度	平成 30 年度
項 目	資 料 購 入 費	金 額	¥12,312-円
内 容	月刊「ガバナンス」年間購読料 平成30年4月号～31年3月号		
支 払 先	株式会社 りょうせい	支払年月日	平成30年 4月27日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

セブン-イレブン
 東加古川駅北口店
 兵庫県加古川市平岡町新在家113
 7-1
 電話：079-454-2804 ｼﾞｬﾝ#1

2018年04月27日(金) 15:30 責107
 公共料金等の受付明細は下記の
 とおりです。
 収納代行SMBCファイナンス 1件
 計 1件

振込金受領証
（振込後附・お振込み用紙7用）

振込人氏名

創政会

様

お振込み金額

12,312

内消費税額

912

支払人

株式会社 りょうせい

振込先

お振込み

金額

お振込み金額



(印字欄)

請 求 書

創政会

様 平成 30 年 4 月 2 日

東京都江東区新本場1丁目18番11号(〒130-8375)

株式会社ぎょう

代表取締役 成 吉

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。 下記のとおりご請求いたします。

ご請求額

¥12,312.-

お客様No
(請求No)

803388552

お支払は 平成 30 年 5 月 31 日までをお願いします。

E

品 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 30年 4月号～31年 3月号	購 読 料	1	12312	12312	

(振 込 先) 銀行 支店

(要打電項目) 803388552 カ)キョウセイ
カコカ ワシキ カイ ソウセイカイ

(1333)

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			会 派 5
会 派 名	創 政 会	年 度	平成 30 年度
項 目	資 料 作 成 費	金 額	¥ 34,034-円
内 容	コピー代(4月分) カラー2,383枚、モノクロ819枚		
支 払 先	富士ゼロックス兵庫株式会社	支払年月日	平成30年 6月 6日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること(書類が多い場合は裏面に続く)			

領 収 証

創政会

様

金額

¥34,034 ※

収
入
印
紙

但し 請求書通り

平成 30 年 06 月 06 日

上記の金額正に領収いたしました。

神戸市中央区浜辺通2丁目1番30号

富士ゼロックス兵庫株式会社

現金・小切手	¥	*
振 込	¥	*
手形・相殺	¥	*
計	¥	34,034 ※

扱 者 印

(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

